

2023/02/08

桜山保育園

保護者各位

先日はお忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。集計が終わりましたので、
①「保護者アンケート結果」②「職員自己評価結果」、③「園の自己評価」の順でまとめさせていただきましたので、ここにご報告いたします。

①「保護者アンケート結果」

回収率：75%

(%)

No.	項目	そう 思う	思わ ない	どちらとも いえない	無記入
1	園の保育理念・保育目標について理解している	87	0	13	0
2	保育士はお子さんの気持ちを大切にしている 保育士に気軽に相談できる	94	0	6	0
3	職員の言葉遣いや態度、服装などが不適切だと感じたことはない	96	2	2	0
4	園内は清潔で整理された空間になっている	89	0	11	0
5	安全対策や感染症対策が十分になされている	94	0	4	2
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなった ときの職員の対応は信頼できる	96	1	2	1
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さん の状態に配慮し、工夫されたものになっている	98	0	2	0
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員 はきちんと対応してくれている	88	1	11	0
9	当園におおむね満足している	89	1	4	6

***項目1**につきましては、昨年度も抽出して説明させていただいておりますが、保育理念や保育目標は、当園が目指す保育の軸といえるもので、職員はこの目標を軸として計画を立て、保育計画に落とし込み、子どもの主体性を重んじながら、年齢に応じた保育（活動）を展開できるよう努めております。昨年度の反省をふまえ、入園説明会にて保育理念や目標についてご説明させていただきました。また、保育活動や行事などを通して保育理念や目標などが保護者の皆さまにわかりやすく届くよう努めてまいりました。引き続き様々な機会を活用し、皆さまにご理解いただけるよう、発信してまいります。

***項目 2**につきましては、日々の中で不安や疑問に感じたことがありましたら、担任保育士や主任保育士、施設長にお声かけいただければ、懇談などの場を設定致します。いつでもお声かけいただきたく、お願い致します。

***項目 3**につきましては、自由記述欄に「一部の先生ですが、言葉遣いが気になる職員がいます。子どもたちのお手本となる先生方なので、子どもに見られているという意識を持っていただきたいと思います。」とご指摘いただきました。誠に申し訳ございません。改めて指導してまいります。

今、“保育士の不適切な保育”がクローズアップされています。法人内では、接遇の内容を含めた研修を実施している他、様々な機関が主催している研修に職員は参加しています。そこで学んだことが実践できていないといったことにも繋がりますので、この事実をしっかりと受け止めて改善してまいります。

不適切な保育につきましては、当園でも職員会議などにて「自分たちの保育は？」といった振り返りや「これは？」といった投げかけなどをし、グループディスカッションを重ね、職員同士が声に出して伝え合える風土作りの必要性を共有しました。

保育の現場は小さなお子さんを集団でお預かりしているといった環境であり、感染症もさることながら、他のお子さんに危険が及ぶといった案件もございます。その場合には、虐待とは全く違った観点での声かけや働きかけが保育士に求められます。このような場合には、お子さんや保護者の方に対し、プロだからこそそのアプローチをしております。必要なことを必要な時期にしっかりとお伝えし、保護者様と一緒に考えてまいります。何か気になることがございましたら、いつでも事務所にお声かけいただきたくお願い致します。

***項目 4**につきましては、お子さんの出席数が少ない日には、草刈や屋上清掃など手分けをして行っておりますが、追いつかないのが現状です。社協を通じてボランティアの方に連絡をいれたことがありましたが、良いお返事がいただけず断念いたしました。

園内清掃に関しましては、朝や活動後、閉園間近などに行っておりますが、ままならず申し訳ございません。気を付けてまいります。

***項目 8**につきましては、昨年度も抽出した項目です。今年度同様、引き続き努めてまいります。

***項目 10** 以下、自由記述欄にいただきました内容を、そのまま記載しました。

ご意見ご要望は後述します。

0歳児 (うさぎ組) ・保育参加、とても楽しかったです！保育参観（のぞき見る）もしたいです。どんどん我が出てやんちゃになってきましたが、今後ともよろしく願いいたします。いつもありがとうございます。

・保育園に行くとき、ニコニコして行ってくれるのを、たいへん嬉しく思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

1歳児 ・毎日楽しく通っている姿を見ていると、自分の子どもに合っている保育園で良か

(きりん組) ったと思っています。職員の皆さんには頭が下がります。現状では、求められる側として、皆さんが限界にある時もあるかと思っています。その時は、保護者側にそれをぜひ伝えてください。

- 日々とても安心して通わせることができています。ありがとうございます。
- いつも温かくご指導いただきありがとうございます。
- 体調が悪く見れませんでした。いつも担任の先生が園での様子をお話くださるので、それを聞くことも夫婦の楽しみです。安心して園に預けることができて感謝しております。
- 保育士が人手不足のなか、一人ひとりに向き合って毎日保育してくださりありがとうございます。そのおかげで保育園大好きになってます！これからもよろしくをお願いします。

2歳児
(りす組) 今年度は意見を申し上げることが少々ありましたが、その都度対応していただいていると思っています。保護者に対しても、保育士の皆さんには気を遣っていただいているな、と常々思っておりますが、それ以上に子どもたちの意見や主張を大切にしてほしいと思います。

- 先生方が子どもの気持ちに寄り添ってくださっているので安心です。いつもありがとうございます。
- 日々お忙しい中保育をして下さり、感謝しております。ありがとうございます。
- 季節ごとの行事や外遊びなど、いつもありがとうございます。
- 園庭や公園での外遊びの機会が多くてありがたいです。子どもが外遊びが大好きなので喜んでます。
- 色々な体験をさせてもらい、たくさんの友達ができて保育園が大好きになった1年でした。これからもよろしくをお願いします。

3歳児
(さくら組) 運動会や保育発表会を成功させたいという先生方や園側の思いがとても伝わり、また、実施していただきありがとうございました。子どもの成長を見る事ができ、娘も毎年楽しみにしている行事でしたので、楽しい時間を過ごせたことに感謝致します。たくさんのご準備、ご指導たいへんだったと思います。本当にありがとうございました。

- いつもありがとうございます。コロナもあり、先生方も大変だと思い、いつも丁寧なご対応に頭が下がります。
- コロナ禍でも行事の時にはマスクを外して子どもたちの表情が見れたことが嬉しかったです。黙食や要所要所でマスクをしても、やはり元気な子どもたちが遊ぶとズレてきたり、徹底することはむずかしいと思います。コロナ以前はインフルが流行ってもマスクを義務付けていなかったように思うので、立ち返ってマ

スクはナシにして子どもたちの表情や感性を重視したいなと思いました。

- ・いつもありがとうございます。
- ・いつも大変感謝しております。今後もどうぞよろしくお願い致します。
- ・いつもありがとうございます。保育園に楽しく通っていて、とてもありがたいです。

4 歳児
(すみれ組)

- ・毎日色々な経験をさせて頂き、子どもも保育園が大好きで感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。
- ・我が子は保育園が大好きです。いつもありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。
- ・まだまだコロナもあり、保育が大変な時期ではありますが、子どもたちが楽しく過ごせるように色々なことを考えてくださり、ありがとうございます。
- ・先生にはいつもしっかりと子どもと向き合って下さり感謝しています。気がついたこと等教えて下さり、よく見て下さっていて、いつもありがとうございます。
- ・いつもきちんと子どもを見てくれて、感謝しています。安心して預けられます。
- ・いつもありがとうございます。昨年度より行事も増え、両親共に参加できるようになり、嬉しかったです。季節の遊びや食など、家庭でなかなかできないことをやって頂き、ありがたいです。春からはいよいよ最終年度となります。笑顔で卒園できますように、これからもよろしくお願い致します！

5 歳児
(ゆり組)

- ・もうすぐ卒園ですが、6年間とても楽しく登園できました。ありがとうございます。
- ・行事等子どもの気持ちや状態に配慮してくれていて、楽しい時間をつくってくださっていると思います。
- ・子どもが帰宅後に話す内容やのびのびとしている様子、1歳児クラスからお世話になっていますが、担任をして下さったすべての先生方を大好きになっていることから、先生方がきちんとみて下さり、向き合ってくれているなど実感しております。ありがとうございます。小学校の生活習慣として月～金の登園にさせたいと思っていた時に、そうさせて頂いたことも、子どものことを考えて下さっているなどと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。残り3ヶ月を切りましたが、振り返った時にここの保育園にしてよかったなど心から思っております。本当にありがとうございます。そして、引き続きよろしくお願い致します。
- ・日々お忙しい中、保育をして下さり感謝しております。ありがとうございます。残り2ヶ月の保育園生活を楽しくすごして欲しいと思います。
- ・季節のイベント行事を実施してくれ(子どもが興味をもつので)ありがたいです。給食、おやつが本当に楽しみなようで毎日チェックしています。

- ・接し方に子どもに対する愛情を感じます。叱る時もしっかりと叱って頂きありがたいです。
- ・そろそろマスクなしで生活させてあげたいですね。運動会や生活発表会も以前のような形に戻して欲しいなと思います。(願い)
- ・いつも気にかけていただき、ありがとうございます。残り僅かではございますが元気に登園できるよう見守っていただければと思います。これからもよろしくお願い致します。

ご意見・ご要望

- ①先生方もお忙しいとは思いますが、園の様子をもう少し教えていただきたい。イベントの時はドアに写真で様子を見る事ができますが、普段の何気ない姿も写真で伝えていただけると嬉しいです。
- ②保育園での写真販売データ化を要望します。データ管理の時代に紙のみの販売はどうかなと思います。あと、お金を支払ってこの画像？と思うことが多いので、腕のいいカメラマンがいいです。働いていて普段の生活が見えず、写真が唯一の楽しみです！ご検討のほどお願いいたします。
- ③行事写真はデータの販売にして欲しいです。(むしろプリント販売なしでも良い。) 日常の写真もプリントして貼りだすよりデータ共有してほしいです。(おすすめアプリ：そだちえ・えんフォト)

※ 上記①②③写真に関するご要望です。①の日常的な活動の写真につきましては、このご要望を職員に伝え、できる範囲で努めてまいります。

②③につきましては、需要と供給といったバランスがあつてのこととは思いますが、現在の業者に検討してもらえるよう伝えたいと思います。

- ④3歳児クラスになったら、親が休みの日でもなるべく園に通えるようにして頂きたいです。

※ 3歳児クラス保護者様からのご要望です。今年度春の懇談会におきまして、「3歳児～5歳児クラスの場合、感染症などがみられない場合は登園していただいて構いません。」とお伝えしております。懇談会に欠席された方には漏れのないようお伝えしておりましたが、届いていず申し訳ありません。

昨年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大予防といった観点と、行政からの指導もあり、お休みをしていただいておりますが、今年度より幼児クラス(さくら・すみれ・ゆり組)のお子さんにおきましては、集団生活・活動の場が大切であるといった観点で、保護者様がお休みの日でも登園を推奨しております。0～2歳児クラス(うさぎ・きりん・りす組)のお子さんにおきましては、年齢的にまだ小さいといった観点で引き続き家庭保育をお勧めしています。どちらにしても、保護者様の通院・健康診断などのご用事の際にはお預かりいたします。ただ、お休みの場合はその旨、必ず保育士にお伝えいただきたいこと。また、ご用事が特になければ、

9 時頃～4 時頃までの保育とさせていただければということ。そして、必ず連絡がとれるようにしていただくことをお約束ください。

- ⑤給食の時間、毎月一つみんなでこれだけは守ろうというルールが決められていたという話を聞き、家でもできそうな良いやり方だなと思ったので、クラスだよりの「月のねらい」のように、保護者にも先生と子どもたちで決めたルールを共有していただきたいと思いました。コロナ禍、みなさん試行錯誤とは思いますが、運動会や保育発表会で保護者＋兄弟も気軽に観覧できる日が早く来て欲しいと思います。

with コロナに対応できる人員配置（職員増員）を検討していただけると、保護者の負担も軽減されるのではと思います。（少し違和感のあるお願い事が今年はいくつか見られました。）

- ⑥R5 年度は元の形でイベント事をしていただきたいです。（願い）

※ クラスルールの共有についてです。年齢によってクラスでのルール作りが必要となることもあり、確かにこちらの保護者様の仰る通り、ご家庭も含めて共有できるとより良いこともあります。意図的にあえて、ご家庭にお知らせをしたりご協力を仰がない場合もありますが、必要に応じてクラスだよりなどでお知らせしてまいります。

コロナに苦しめられた数年間。5 月 8 日から 5 類に移行されることになりましたが、0 歳児から 5 歳児までのお子さんを集団でお預かりしている保育所がどこまで緩和されるのか、動向をしっかりとみていかなければと思っています。現在マスクに関しましては、2 歳児クラスまでは安全面を考慮してお願いしておりません。また、3 歳児～5 歳児クラスに関しましても、以前にお知らせを出しましたが、自由選択としております。ただし、咳が出ている場合やコロナ罹患者数によってお願いしている現状です。厚生労働省では、感染症対応の基本は一緒に、一同に会さない、マスク着用を薦める、うがい・手洗いの励行等といった内容になっています。それぞれの施設により、保育室の大きさやお子さんの人数、トイレや手洗い場の場所など様々であり、今迄もそしてこれからもケースバイケースで最善を考えていくことが重要だと思います。

今年度は運動会、発表会を行うことができました。今まで同様の形では出来ませんでした。このコロナ禍で今一度見つめ直し、本当に必要なものは何なのか？といったことを再考させられた数年間でした。いっぺんにとはできないかもしれませんが、より少し進めた形での行事開催をと考えております。その際には、ご協力宜しくお願い申し上げます。

人員配置についてです。ご指摘の通りと思っております。現在、保育士養成校に入学する学生さんが激減していること。卒業しても保育士として就職する学生さんが少ないこと。就職してもすぐに離職してしまうこと。逗子市においては、横浜市や横須賀市、川崎市のように独自助成がなく、派遣でもなかなかみつからないこと……など多くの理由が重なっています。それでも少しでも、養成校を何校も訪問しお話を伺ったり、法人全体で初任給のアップを図るなどの改善に努めております。4 月から求人募集はしていますが、なかなかの現状です。逗

子市の園長会では市長との懇談の際、保育士の処遇改善をお願いいたしました。認可に限らず認可外など施設の施設も人材確保に苦慮しており、逗子市としての改善策をお願いした次第です。何より皆さんも報道でご覧の通り、人員配置は何十年と変わらず、県管轄と横浜などの大きな市との格差も問題視されてきています。私たちといたしましても、子どもたちに向き合う時間確保のための業務軽減といった視点で、いつまでも古いやり方ではなく、自分たちで改善できるところはしていかなければと思っております。

今後も人材確保を進め、保育所の職員が心身ともに健康で、互いに信頼し合い、保育士という仕事を楽しんでいけるような職場環境になるよう、努力してまいります。と共に、保護者の皆さまにおかれましても、温かく見守っていただければ幸いです。引き続き、宜しくをお願いいたします。

⑤ 「職員自己評価結果」

7項目について、主任保育士、保育士、事務員、栄養士、調理員すべての職種の職員が自己評価を行ったものを、まとめて記載いたします。

子どもの最善の利益を考慮する

- ・年齢に応じた適切な言葉、わかりやすい話し方を心がけた。
- ・丁寧に、また、一人ひとりに合わせた声かけを常に工夫するようにした。
- ・次の意欲につながるような言葉かけや、気持ちを受け止められるようなやりとりを心がけた。
- ・自分も子どもも、一人の人間として向き合うよう意識しながら保育をした。
- ・急かしてしまったり、進級に向けてプレッシャーとなってしまうような関わりや声かけをしてしまったこともあり、反省している。

子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場を提供する

- ・それぞれの育ちや環境を理解し受け止め、保育園が子どもたちにとって安心して過ごせるよう、また、暖かみがあり幸せな場所になるような環境作りに努めた。
- ・一人ひとりの年齢や成長に応じて活動場所や玩具を変えたり工夫し、伸び伸びと、また毎日楽しく過ごせたり季節を感じられるよう、様々な環境を提供した。
- ・感染症の状況に合わせて、臨機応変に判断することの大切さを改めて感じた。
- ・子どもたちが安心して過ごせるよう、笑顔を絶やすことのない空間作りに努めた。

一人ひとりに応じた関わり方や配慮をする

- ・一人ひとりの発達段階や家庭環境、個性などを職員間で共有しながら、適切な関わりを心がけた。
- ・対応が難しいと感じた時もあったが、一人ひとりに向き合うことを意識し、受け入れるように努めた。
- ・自分でやりたいという気持ちを受け止め、自分でできた喜びが感じられるように配慮した。

- ・一人ひとりの態度や表情から気持ちを汲み取りながら、言葉かけや関わりを工夫した。
- ・個々の関わりを大切にしようと心掛けたが、クラス全体の保育とのバランスの難しさを感じた。
- ・食物アレルギー児への対応、年齢や月齢に応じた食事の提供に努めた。

養護と教育が一体となった保育を展開する

- ・愛情深く関わりを持ち信頼関係を築き、安心して自分の気持ちを表すことが出来るように援助した。
- ・自然と関わりながら、子どもたちが主体的に遊びを展開したり、ゆったりとしたクラスの雰囲気の中で、身の回りのことを意欲的に行えるよう、常に心掛けた。
- ・基本的な生活習慣がより丁寧に見えるよう、時間をかけて伝えていった他、様々な活動・環境を保育に組み込んでいった。

人的環境・物的環境・空間・自然や社会事象など工夫する

- ・毎回活動を始める前に、子どもたちが安全に過ごせるよう環境を整えていた。子どもたちが自ら様々な事象に気付けるよう、見守ることもあった。
- ・難しく、うまく提供できないこともあったと思う。
- ・季節に合った製作や壁面の飾りだけでなく、野菜を育てるなど自然物にも興味関心が広がるよう活動に取り入れていった。
- ・子どもたちの成長に合わせ、担任間で常時話し合い、柔軟に環境を整えることができた。
- ・安心安全に過ごせる園とは何かを考え、これからも考えていく。
- ・園内の設備環境に気を配り、不具合が生じた際にはスピーディーな対応に心掛けた。
- ・子どもを取り巻く環境の一つとして、誕生会ではおやつに旗を立てたり、行事食では由来などを説明し、子どもたちが興味関心を持ったり喜んで食べられるよう努めた。

保護者・家庭との緊密な連携を持ち支援する

- ・笑顔を忘れずに対応すること、また、何かあった時には真摯な姿勢で応じることを心がけた。
- ・話しやすい環境を心がけたが、支援がたりないこともあったかと思う。
- ・保育の様子を写真（掲示）で伝えているが、定期的にはできなかったのが反省点である。
- ・様々な家庭環境を考え、色々な形の支援を考えさせられた一年であった。

資質向上を考え研修を受ける

- ・療育センターの見学、乳児研修、応急処置研修、AED研修、保護者支援研修、子育て支援研修、エピペン研修、虐待防止研修、ハラスメント研修、危機管理研修など、それぞれ全員が様々な研修を受けました。法人内研修では、初任者研修に参加し、福祉職員として大切な基本的なことへの学びを深めた保育士もいます。リモート研修もありますが、今年度は体験型研修を取り入れたことで、実体験でき良かったと職員からも好評でした。今後、学んだことを活かしていけるよう努めてまいります。

㉓ 「園の自己評価」

今年度もコロナ禍の一年となりましたが、保護者の皆さまのご協力をいただき、運動会や保育発表会といった大きな行事を観覧者2名まで増やして開催することができました。開催後の集団感染もなく、ホッとしております。それぞれ開催方法など反省点もございますが、何より子どもたちが生き生き伸び伸びと楽し気に取り組んでいた姿が印象的で、保護者様からも同様の声を聞くことができ、保育士も同様に感じております。今までと同じという訳にはいかないかもかもしれませんが、来年度はもう少し広げての開催ができれば、と思っています。

さて、今年度は①「豊かな自然に囲まれた環境を活かした保育」②「食育・季節の行事を大切にしたい保育」③「地域との触れ合いを大切にしたい保育」の3点の目標を挙げました。

①「豊かな自然に囲まれた環境を活かした保育」②「食育・季節の行事を大切にしたい保育」に関しましては、職員自己評価にあるように、子どもたちを取り巻く環境として大切に思い、畑での野菜の収穫の他、製作に取り入れたり、自然物でおもちゃを作ったり、山登りをしたりと、様々な環境を設定しながら保育を展開しています。今年度は園内勉強会としてSDGsの勉強を職員間で行い、今迄私たちが大切に守ってきたものがSDGsに繋がっており、だからこそこれからの子どもたちに分かりやすく伝えていくことが保育所(保育士)の使命だと思いを強く致しました。また、行事についても大切に守り、行事食や集会を通して由来などを楽しく伝えられるよう、工夫しています。

③「地域との触れ合いを大切にしたい保育」につきましては、コロナ禍により限られてはおりますが、特に逗葉高校の学生さんとの触れ合いを多く設ける事ができました。学生さんが保育園を訪問して子どもたちと遊んでくださっただけでなく、高校で育てたパプリカと一緒に収穫させていただいたり、どんぐり拾いととも学校探検をさせていただいたり、避難訓練で高校まで一緒に避難したり・・・本当に貴重な経験をさせていただきました。また、園職員が学校を訪問し、「子どもの安全」「折り紙の教え方」などの講演もさせていただき、職員も改めて勉強することができました。子どもたちには内緒ですが・・・クリスマス会で登場したサンタクロースは逗葉高校の校長先生、トナカイは先生が担当して下さり、当日は吹奏楽部のみなさんの生演奏までご披露いただきました。逗子高校との併合に伴い、来年度から「神奈川県立逗子葉山高校」と学校名が変わりますが、これからも高校との繋がりを大切にしていきたいと思っております。

今年度は同法人「逗子なないろ保育園」の年長組さんと当園の年長組さんがドッジボール大会を開催しました。実施できない月もありましたが、10月からスタートし、回を重ね「勝つために」と最終決戦に向けて頑張っているところです。小学校に上がった時、「ドッジボール大会をしたね。」など、会話のきっかけになれば・・・といった思いもあり、また、ひとつの目標に向かってみんなで頑張ることや達成感を味わわせてあげたいと、取り組むことにしました。最終決戦では、どちらに勝利の女神がほほ笑むのか・・・(勝利の行方より、それまでの取り組みや頑

張りを褒めてあげたいといった思いが強いのですが・・・) 楽しみですね。その他、サマースクールや中学校の職業体験、そして何より、多くのお父様お母様方が「保育に参加」していただき、走ったり遊んだり山登りをしたり・・・と子どもたちとの楽しいひとときを過ごして下さったこと、感謝申し上げます。今年度、ご都合がつかず断念された方は、来年度ぜひご参加ください。お待ちしております。

今年度を踏まえた令和5年度の目標ですが、「自分たちの保育：原点にかえって」といった点をポイントに、話し合いを重ね、掘り下げていければと思っております。

最後になりましたが、皆さまから沢山の温かいエールをいただき、本当にありがとうございました。アンケートでいただいたご意見の全てを職員間で共有し、来年度以降改善できるよう努めてまいります。来年度も引き続き、どうぞ宜しくお願い申し上げます。